

令和8年度

吉野川市立川島中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- バランスの取れた「確かな学力」の育成
- ・基礎基本の徹底と「できた」「わかった」が飛び交う授業づくり
- ・思考の過程を大切にしたい学びの場の設定
- ・自主的に目標を掲げた家庭学習の定着

校長

校長

学力向上推進員

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

- ①管理職・教職員による授業参観など学びの場の設置 ②授業後における生徒の振り返り ③「めあて」「振り返り」等の明確化

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科において、課題や目的意識をもって学習に取り組むことができる。 ●各教科で身につけた基礎基本を関連付けながらまとめたり、学びを深めることに課題がある。	・習得した知識や技能を他の学習活動の場面で活用することができる。 ・学校で学習した内容を家庭学習にもつなげ、自主的・継続的に学習に取り組むことができる。	・各教科で、授業の終わりに目標に沿った振り返りを行い、他者と学びの共有を図ることで、探究心を向上させる。 ・自主勉強ノートや各教科のプリント等を活用しながら、基礎基本的な内容を振り返り、確実な定着を図る。 ・教員同士が相互に授業参観を行い、意見交換等を通して、互いに学びあう。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友だちの意見をしっかり聞くことができ、タブレット端末等を活用した活動では、自分の考えをうまくまとめることができる。 ●各教科で学んだことを、わかりやすく伝えることや自分の考えを深めたりすることに課題がある。	・各授業における課題に対して、話し合い活動を通して自分の考えを深めることができる。	・ペアワークやグループ活動を通して、互いに協働して取り組む中で、自分の考えを深め、表現する機会を多く取り入れる。 ・ホワイトボードやICT機器を効果的に活用した発表や話し合い活動を充実させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○「至誠ノート」への記入を通して、自分の目標達成に向けて、努力することができる生徒が多い。 ●指示されたことには、まじめに取り組めるが、不得意な学習(活動)や家庭学習等に対しては、自ら計画を立てて克服することに課題がある。	・自らの課題に対して、生徒自身が長期的・短期的に課題解決のための学習計画を立て、実行することができる。 ・自分の学習状況を見つめ直し、家庭学習等の時間を確保し、主体的に学習に取り組むことができる。	・「至誠ノート」の目標を再確認し、目標達成に向けて取り組むことができるようにする。 ・学習の目的や学び方を伝え、家庭との連携を図りながら学習意欲の向上につなげる。			